

入場
無料

神戸学院大学

2019 Green Festival

10月12日(土) 15:00開演

マウロ・イウラート、伊藤ルミ、デュオ・リサイタル

第412回

出演／マウロ・イウラート（ヴァイオリニスト）、伊藤ルミ（ピアノ）

イタリアのヴァイオリニスト、マウロ・イウラートさんと、神戸のピアニスト伊藤ルミさんによるデュオ・リサイタルで、前半はモンティ「チャールダッシュ」などイタリアの小品集、後半は Brahms のソナタ第3番を中心とした重厚なプログラムです。二つの楽器による多様な音楽世界をお楽しみください。

11月10日(日) 17:00開演 *本学課外活動団体による公演

神戸学院大学 チアリーダー部 SEAGULLS

第413回

第26回 Dancing EXPO 2019

11月16日(土) 15:00開演

日本歌曲を集めて～「花」「この道」「鐘が鳴ります」「落葉松」～

第414回

出演／秋山文代（ソプラノ）、林裕美子（ソプラノ）、荒田祐子（メゾ・ソプラノ）、神田裕史（テノール）、岡田征四郎（バリトン）、中村展子（ピアノ）

瀧廉太郎、信時潔、山田耕作、中田喜直等、明治の洋楽流入期より作り続けられてきた日本歌曲の名曲を一挙に上演いたします。

※当日13時35分からプレ・イベントとして、ミニ・レクチャー「日本歌曲の位置と意味、クラシック音楽の歌曲との関連から」を開催。

講師は、本学人文学部教授で作曲家の宇野文夫。会場は961視聴覚室です。

12月1日(日) 14:30開演 *本学課外活動団体による公演

第415回

神戸学院大学 混声合唱団パンドラ 第32回 定期演奏会

客演指揮／西牧潤 学生指揮／杉本奈菜子

12月8日(日) 14:00開演 *本学課外活動団体による公演

神戸学院大学 管弦楽団 第25回 定期演奏会

第416回

指揮／松井隆司

12月24日(火) 15:30開演

リーディング・シアター 中国現代劇「わが家の客（原題・「家客」）」

第417回

作：喻栄軍（上海話劇芸術センター） 訳：中山文

演出：小原延之 出演：林田鉄（四方館）／馬場晶子（道化座）／稻田喜之（千年団）

※当日13時45分から、「上海の劇作家、喻栄軍と『わが家の客』をめぐって」と題したプレトークを開催。

講師は本学人文学部教授で今回の翻訳を担当した中山文ほか。会場は961視聴覚教室です。

会場／神戸学院大学 有瀬キャンパス メモリアルホール（9号館6階）

主催／神戸学院大学 後援／兵庫県、（公財）神戸市民文化振興財団

参加／関西元気文化圏

お申し込み
方法

往復ハガキを使用してください。

※2019年10月1日より郵便料金が変わります。

私製ハガキや2枚のハガキの貼り合わせは避けてください。

申込者多数の場合は抽選になります。

・往信裏面に①公演名 ②公演名 ③住所 ④氏名（ふりがな）⑤電話番号をご記入ください。

・返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。

・返信裏面は空白のままにお願いします。

・1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。

・受付期間は各公演の2週間前（必着）です。

（※土曜日の場合は月曜日、日曜日・祝日・休日の場合は翌日）

・学齢期に達していないお子さまのお申し込みおよび入場はご遠慮いただいております。

～個人情報の取扱について～

入場申込往復ハガキにご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認。

入場券の発送（抽選の場合の結果通知含む）、申込み状況の統計分析に限って使用します。

※天候により中止になる場合があります。詳細は大学HPをご確認ください。 ※公演5日前までに返信ハガキが届かない場合は、一度お問い合わせください。 <http://www.kobegakuin.ac.jp/>

お申し込み・お問い合わせ先

〒650-8586 (この郵便番号を使うと住所は省略できます)

神戸学院大学グリーンフェスティバル係

電話 078-974-6105 (担当部署:社会連携グループ)

交通経路と所要時間

① JR「明石駅」より神姫バス「神戸学院大学方面行」に乗車（約20分）

② 神戸市営地下鉄「伊川谷駅」より

神姫バス「神戸学院大学経由明石駅行」に乗車（約13分）

公共交通機関をご利用ください。学内の駐車場はご利用いただけません。



関西から



2019年(秋季) 神戸学院大学 Green Festival

ご案内

グリーンフェスティバルは、地域の方々や本学の学生・教職員に様々な舞台芸術に接していただくべく、毎年春と秋に各4~9回の公演を無料で提供しています。プロ公演ではクラシック音楽、古典芸能、各種の演劇を中心に国内外のアーティストを招いて、多種多様な公演を企画しています。本学学生の課外活動団体の公演では、学生たちの日頃の研鑽の成果をみなさまにご披露させていただいております。

マウロ・イウラート、伊藤ルミ、デュオ・リサイタル

出演／マウロ・イウラート(ヴァイオリン)、伊藤ルミ(ピアノ)

■曲目	●ブニヤーニ.....「ラルゴ・エスプレッシーボ」(ヴァイオリン・ソナタ作品8-3より) ●コレルリ.....「ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 第3調 作品5-12『ラ・フォリア』 ●レスピーギ.....「メロディ」「伝説」「5つの小品」より ●アルビノーニ/ジャズ.....「アーダージョ」 ●モンティ.....「チャールダッシュ」 ●ハイドン.....「ピアノ・ソナタ二長調 Hob.XVI 37」(ピアノソロ) ●プラームス.....「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第3番 第3調 作品108」
-----	--

イタリア出身で、オーストリアを経て現在日本でも活躍中のヴァイオリニスト、マウロ・イウラートさんと、長く神戸で活動されているピアニスト伊藤ルミさんによるデュオ・リサイタルです。前半は、イウラートさんのお国もの、コレルリ、レスピーギ、モンティ「チャールダッシュ」といった今昔のイタリアの小曲集、後半はドイツ音楽で、伊藤さんのソロでハイドンのピアノ・ソナタと、デュオによるプラームスのソナタ第3番です。ヴァイオリンとピアノによって描き出される、濃密で表情豊かなイタリア音楽と、重厚で構築的なドイツ音楽の魅力を、たっぷりとお聴きください。

神戸学院大学 チアリーダー部 SEAGULLS 第26回 Dancing EXPO 2019

今年のDancing EXPOは、「私」、「哀」、「逢」、「愛」の4つの「I(アイ)」をテーマにしたステージになっています。部員全員の力を合わせ、例年とはひと味違う舞台に仕上げました。私たちSEAGULLSは、チアリーダーらしい元気なダンス、技だけではなく、Hip Hop、パレエ、Jazzなど、様々なダンスを踊ることができるチームです。部員1人ひとりの個性と魅が溢れるステージをお楽しみください。部員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日本歌曲を集めて ~「花」「この道」「鐘が鳴ります」「落葉松~

出演／秋山文代(ソプラノ)、林裕美子(ソプラノ)、荒田祐子(メゾ・ソプラノ)、神田裕史(テノール)、岡田征四郎(バリトン)、中村展子(ピアノ)

■曲目	●瀧廉太郎.....「花」、「荒城の月」 ●信時潔.....「絶句」、「占うと」、「ゆめ」、「不盡山を望みて」 ●山田耕筰.....「野薔薇」「唄」「曼殊沙華」「この道」「かやの木山」「鐘が鳴ります」 ●橋本國彦.....「なやましき晩夏の日に」「薄いなさけに」「お菓子と娘」「アカシヤの花」 ●清瀬保二.....「なめいし」「海の若者」 ●別宮貞雄.....「さくら横ちょう」 ●中田喜直.....「ちいさい秋みつけた」「おやすみ」 ●園伊玖磨.....「序のうた」「ひぐらし」「紫陽花」 ●小林秀雄.....「飛騨高原の早春」「落葉松」
-----	--

明治維新による欧米文化の流入に連動して、日本の音楽界にはクラシック音楽を中心とするヨーロッパの音楽文化も流入してきました。日本人作曲家による歌への作曲は、シェーベルトやシューマンを模範としながらも、日本語の詩に対して行われました。日本の詩の伝統は欧米よりも遅く古いもので、歌曲を試みるにあたり、作曲家が古歌から現代に至る自国の詩に曲をつけようとしたのも当然のことといえます。爾来、沢山の日本の歌曲が作られ、その幾つかは広く一般にも親しまれるものとなっています。今回は、瀧廉太郎、山田耕筰、中田喜直等の著名な作品から、信時潔、橋本國彦、清瀬保二といった、日本歌曲初期の重要な作曲家の作品まで名曲の数々を一挙に上演いたします。御出演は、演奏を通じて日本歌曲の振興普及活動をされている「神戸波の会」の方々です。プレ・イベントとして当日13時35分から14時15分まで、961視聴覚教室(メモリアルホールと同じ9号館6階)にて、「日本歌曲の位置と意味、クラシック音楽の歌曲との関連から」と題したミニ・レクチャーを行います。講師は、本学人文学部教授で作曲家の宇野文夫です。

神戸学院大学 混声合唱団パンドラ 第32回 定期演奏会

客演指揮／西牧潤 学生指揮／杉本奈菜子

今年で第32回目の定期演奏会を迎えることとなりました。今回は女声合唱ステージにも挑戦しようと考えております。どちら様も楽しめる内容となっております。部員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

神戸学院大学 管弦楽団 第25回 定期演奏会

指揮／松井隆司

こんにちは。神戸学院大学管弦楽団です。今年で定期演奏会を開催して25回目となりました。ここまで開催してこられたこと、団員一同大変嬉しい思います。さて、今回のメインの曲は誰もが聞いたことのあるベートーヴェン作曲「運命」を演奏いたします。精一杯演奏させていただきますので、ぜひお越しください。

リーディング・シアター 中国現代劇『わが家の客(原題・「家客」)』

作:喻栄軍(上海話劇芸術センター) 訳:中山文 演出:小原延之 出演:林田鉄(四方館)/馬場晶子(道化座)/稻田喜之(千年団)

2018年、上海で素晴らしい作品が生まれました。作者は「カブチーノの味」「WWW.COM」など上海の若者世代を鮮烈に描いてきた喻栄軍。しかし新作『わが家の客』に登場するのは3人の老人。しかも上海の公演では、3人の俳優の実年齢が200歳を超えるという超高齢者演劇でした。

彼らは、人生の終わりが見える年齢に達し、過去を振り返ります。「もし、あのとき、違う選択をしていたなら」。1976年の唐山大地震に遭遇した男の消息をめぐり、運命に翻弄されながらも懸命に生きてきた3人の姿をしみじみと、そしてあたたかく描きます。

今回の翻訳上演に際し、日本でも役柄の設定年齢に近いペテラン俳優に集まっていただきリーディング・シアターとしてお贈りします。リーディング・シアターとは、読むと演ずるを融合させた朗読を超える新しいスタイルです。ぜひ中国の老人たちの人生の喜びを味わってください。

出演者の希望で曲目・演目が変更されることがあります。ご了承ください。